SHOWA fine various reagents

化学物質等安全データシート

1.化学物質及び会社情報

昭　和　化　学　株　式　会　社
東京都中央区日本橋本町４－３－８
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡　　同　上

改訂　平成20年6月3日

化学物質等のコード　：　1967-8350

化学物質等の名称　　：　スチレン，ポリマー

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

現時点において、全ての危険・有害性項目は分類できない、分類対象外又は区分外である。

注意喚起語　：　なし

危険有害性情報：
・最重要危害性：該当なし（旧日本式分類：該当なし）
通常の取扱で危険有害性は低い。
・有害性：　経口；大量に摂取すると、嘔吐、吐き気、下痢の症状が現れることがあり、
有害である。
吸入（粉塵）；大量に吸入すると、経口摂取と同様に有害である。
皮膚、眼；物理的な刺激が現れることがある。
暴露；特になし。
・環境影響　：有害性は低い。
・物理的及び化学的危険性：通常の取扱で危険性は低い。

注意書き
【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【救急措置】
眼に入った場合、水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚又は毛髪に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
取り扱った後、手を洗うこと。
【保管】
直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	：	単一製品
化学名	：	スチレン，ポリマー （別名）ポリスチレン （英名）Styrene , polymer
成　分	：	スチレン，ポリマー
化学式又は構造式	：	(C6H5CH：CH2)n
分子量	：	不定
官報公示整理番号（化審法）	：	(6)-120
ＣＡＳ　Ｎｏ．	：	9003-53-6
危険有害性成分	：	特になし

4．応急措置

吸入した場合　：　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時、異常を感じた時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　：　直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。
皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
気分が悪い時、異常を感じた時は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合　：　水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪い時、異常を感じた時は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合　：　口をすすぐ、大量の水を飲むこと。
意識がない場合は、無理に吐かせたりせず、直ちに医師を呼ぶこと。
気分が悪い時、異常を感じた時は、医師の診断、手当てを受けること。

5．火災時の措置

消火剤　：この物質は可燃性。周辺火災に適応した消火剤を使用する。
小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂
大火災：散水、噴霧水、泡消火剤

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性　：火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法　：風上から消火活動をする。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
容器内に水を入れてはいけない。
環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。

消火を行う者の保護　：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：　直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
風上に留まる。
低地から離れる。

環境に対する注意事項　：　環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和　：　漏出物を掃き集め、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処分する。
後処理として、漏洩場所は大量の水で洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材
：　危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策　：　排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
滑りを防止するため、こまめに処理する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気　：　「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項　：　すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん、ミスト、ガス、蒸気、スプレーなどを吸入しないこと。
眼に入れないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避　：　「１０．安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策　：　保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質　：　「１０．安定性及び反応性」を参照。

保管条件　：　容器を密閉して換気の良い涼しいところに保管すること。
なるべく乾燥したところに保管すること。
強酸化剤と離して保管すること。
食品や飼料から離して保管する。
施錠して保管すること。

容器包装材料　：　ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：　未設定

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：

日本産衛学会（2006年版）　未設定
ACGIH（2007年版）　未設定

設備対策：高熱工程で粉じん、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設置する。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具
- 呼吸器の保護具：保護マスクを着用すること。
- 手の保護具：保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具：眼の保護具（保護眼鏡、側板付き保護眼鏡）を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具：保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：無色の固体（粒状、塊、ブロック状）
臭い：無臭
pH：データなし
融点・凝固点：約240℃
沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし
引火点：約350℃
爆発範囲：データなし
蒸気圧：データなし
蒸気密度（空気 = 1）：データなし
比重（密度）：1.05（23/23℃）
溶解度：水、メタノール、エタノールに溶けない。
トルエン、シクロヘキサン、ニトロベンゼン、クロロホルム、テトラヒドロフランに溶ける。
オクタノール/水分配係数：データなし
自然発火温度：約430℃
分解温度：データなし
臭いのしきい（閾）値　データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）：データなし
燃焼性（固体、ガス）：可燃性固体
粘度：データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：通常の取扱で安定である。
危険有害反応可能性：強酸化剤と反応することがある。
耐油性は弱い。
避けるべき条件：日光、熱
混触危険物質：強酸化剤
危険有害な分解生成物：火災等で強熱分解すると、スチレンのヒューム、一酸化炭素ガスを発生する。

１１．有害性情報

急性毒性：経口　データなし
皮膚　データなし。ポリマーのため皮膚への浸透や吸収はない。
吸入（粉塵）　データなし
皮膚腐食性・刺激性：データなし。物理的な刺激が発生することがある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：データなし。物理的な刺激が現れる可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：知見なし
生殖細胞変異原性：知見なし
発がん性：IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載なし。
生殖毒性：情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：情報なし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：情報なし
吸引性呼吸器有害性：データなし

１２．環境影響情報

ポリマーのため、水生生物への有害性は少ないと推測される。

生態毒性：データなし
残留性／分解性：データなし
生物蓄積性：データなし
土壌中の移動度：データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。 （参考）焼却法 可燃性溶剤に溶かし、アフターバーナ及びスクラバ付き焼却炉の火室へ噴霧し、高温で焼却する。
汚染容器及び包装	：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国連番号	：非該当（非危険物）
国連分類	：非該当
海洋汚染物質	：非該当
特別の安全対策	：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

１５．適用法令

労働安全衛生法	：非該当
毒物及び劇物取締法	：非該当
消防法	：非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	：非該当
船舶安全法	：非該当
航空法	：非該当

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR･MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険･有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。